

# 補習校だより

2019年5月24日発行



雨がめっきり少なくなり、日差しがじわじわと強くなってきました。イランの春もあとひと月ほどで終わりますが、公園などにはまだ春を感じさせてくれるバラが美しく咲いています。

今年度の修了式も皆様のおかげで無事に終わりました。同日に行われた学習発表会では、大きく成長した子どもたちの様子を見る事ができました。大事に育ててきたつぼみが花開いたような、嬉しい瞬間でした。

補習校の授業は、次年度の秋までしばらくお休みになります。しかし、また来年すてきな花を見たいから、私たち大人は土壌の手入れや水やりの様に地道な日々の努力を続けていけるのだと思います。

## 今後の予定

5月17日(金)～9月25日(水) 夏期休業、  
ティール月(6月22日)以降希望者による夏期補習授業予定、全7回。

※2019年度補習校始業はメヘル月第一木曜日の9月26日(木)からとなります。



## ☆行事報告☆

### 職業体験談

4月25日、現在 JICA テヘラン事務所にお勤めの水谷陣也さんをお迎えして「職業体験談」をお話していただきました。

水谷さんは9年前のテヘラン留学時に補習校の補助教員をしていました。その後、大学を卒業して JICA へ就職、数年後に再びイランに駐在として戻ってきました。

今回、JICA とはどんな仕事をしている機関なのかを教えてください、いつから日本がイランへ国際協力を始めたのか、具体的にイランでどんな成果を上げているのかをお話していただきました。最近では、イラン各地で起こった洪水の災害支援として、テントや毛布を届けたことも、その一つでした。

最後に補習校生へのメッセージをいただきました。現在の補習校生は皆、日本とイランのハーフですが、生まれた時から意識せずとも、二カ国の文化と言語が根付いています。それはとても特別なことで、たとえ日本とイラン以外の国へ行っても違和感なく、その国の人々が何を考えているのか想像しやすいと仰っていました。

人とは違う事で苦労することもあります。それは発想を変えれば長所になることを意識させられました。再び補習校で教えて下さった水谷さんに、感謝いたします。

なお、水谷さんは週に一回ブログを書いており、「143. 架け橋になるということ」で、補習校と今回の職業体験談について綴っています。ブログのアドレスは、<http://blog.livedoor.jp/mizutani67/> です。



### 感想文紹介

「JICA」 三年 小林スルシュ

国際きょうりよくをして相手の国のもんだいを助け合う仕事をしている JICA は、イランともきょうりよくをしています。たとえば、この前のこうずいの際はテントや食りょうなどをおくって、色んな人々がたすかりました。またはゲシュムのマングローブをまもりながら、それが人々のためになるようにお店やかんこうスポットをふやしたそうです。

JICA はほかの国でも、色んなもんだいをかいけつしているのだと思います。ばくも JICA みたいに色んな国とたすけあいたいです。

「JICA の仕事を知って」 四年 サファリ明日漢

JICA のしている仕事はこまっている国をいろいろなところで助ける仕事です。それも、できるだけその国のしぜんをこわさによようにしていると聞いて、すごい仕事だ

と思いました。

水谷さんは、ゲシュムのマングローブの森に行く船に乗る場所が、とてもきれいになっていると言っていました。一年前までは、おじさんがただ船に乗せるだけのきかない場所だったそうです。

ばくも今年その場所に行って、船に乗りました。あずまやの形をしている船で、とても楽しかったです。周りにはたくさんのお店もありました。こうやってマングローブの森がいつまでものこっていてほしいです。

「感想文」 中学部二年 鈴木沙奈

私は今までジャイカ(国際協力機構)の名前を聞いたことがありましたが、具体的にどのような仕事をしているのかは、今回水谷さんのお話を聞いて初めて知りました。

ジャイカイラン事務所では、テヘラン市役所など、色々な公的機関に日本人の専門家が送られていっしょに問題を解決する仕事をします。たとえば、大気汚染の問題をイランと協力してどう解決するのかや、イラン政府にお金を貸して、イラン政府が借りたお金でダムや道路、空港などを作ったりし、その国の人たちの生活が豊かになるための仕事をしていることが分かりました。

ジャイカはその国が日本に協力を求めて、そのためのプロジェクトをして、直接その国から指示を受けないということも分かりました。

イランの文化も日本の文化も知っている私たちは、相手とコミュニケーションがしやすく有利だということを知りました。私もジャイカで働いてみたいなと思いました。



## 2018年度 修了式

今年度の修了式は皆様、いかがでしたでしょうか。初めて修了式を迎えた一年生も、何回か修了式を経験した補習校生も、今年が最後かもしれない上級生も、それを見守る大人たちも…皆それぞれの想いで臨んだ一日だったと思います。



一年生は詩の朗読と作文の発表、三年生は自作の物語の発表、五年生は漢字の成り立ちの研究と創作漢字のクイズ、四年生は新聞作りと体の一部

ご存知の方も多いですが、本校修了式は例年学習発表会をした後、修了式を行っています。一年間の成果発表を終えて、初めて修了となるのです。



が入った日本の慣用句クイズ、六年生はイランの慣用句を調べて日本語訳を発表、中学部一年は日本の方言についての研究発表と方言コント、中学部二年生は世界の補習校について研究発表しました。



その後テヘラン日本人学校校長亀山先生より講評をいただき、第一部学習発表会を終えました。

第二部は日本式に修了式を行い、森川臨時代理大使より修了証書授与、森川臨時大使と寺田日本人会会長より素晴らしい祝辞を頂き、補習校



校歌斉唱で式を終えました。



日頃の補習校生の努力と保護者らの支え、それから教員代表の謝辞にもありましたが、補習校の活動に理解を示し支えてくださる多くの方々がいらっしやること…、会場にいた日本人もイラン人も一緒になり、とても素晴

らしい修了式を作り上げる事ができました。すべての皆様に感謝申し上げます。



日本大使館 HP で紹介されました↓

[https://www.ir.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/00\\_000524.html](https://www.ir.emb-japan.go.jp/itpr_ja/00_000524.html)

## コラム

『最後の修了式を終えて』

中学部教員 水越 里絵

先日、教員としての最後の修了式が終わりました。例年以上に子供たちの学習発表会に時間を十分に取れ、一人一人の成長を垣間見れた発表会でした。教員として6年間、修了式の準備をしてきて毎年一番頭を悩ましていたのが、どんな題材を選べばいかによ子供たちが1年間の自分たちの成果を発表できるかという点でした。しかし、最後の2年くらいから気づいたのは子供たちがある程度は自主的に選んだ方が、何かしら問題が起こっても、なんとかやりきろうと知恵を絞り始めるということです。こちらから、すべて出来上がったものを与えるのではなく、彼らの意見を尊重して、任せてみる。危なっかしいなと思うところはあっても、それでも、任せる。もちろん、私が担当していた学年が中学部であったということもあります。学年が下のうちは先生から指示されたことがきちんとできる、そこから始まるのでしょうか。ですが、徐々に私たちが思っている以上に彼らは成長していたんだと本当にそう思われた今年の修了式でした。

そもそも、このイランで、このような日本式の修了式というものが体験できることも補習校に在籍しているからこそであるわけです。さらには、修了式に毎年いらっしゃってくださるご来賓の方々、今年はテヘラン市の市役所の方々など、本当にたくさんの方々を支えられてこの補習校が存在しているんだということも子供たちはこの式を通じて感じ取っているのではないのでしょうか。

これからも、10周年、20周年と補習校がいつまでもイランで暮らす私たちと共にあり続けてくれることを切に願っています。

## 編集後記

2009年より開校したテヘラン日本語補習校も、次年度で10周年を迎えます。今や開校当初からのメンバーはごく僅かですが、立ち上げメンバーの想いはちゃんと受け継がれています。これからも、巣立っていった子どもたちが誇れるような補習校を目指して参ります。応援よろしくお願いたします。

# テヘラン日本語補習授業校 生徒募集

テヘラン日本語補習校は 2009 年に日本人保護者の有志によって創設されました。日本人とイラン人のハーフの学校というイメージがありますが、そんなことはありません。ご両親の都合でイランに滞在し、インターナショナルスクール等に通っている日本人のお子さん、日本で生まれ育ちイランに帰国してからも日本語を学びたいと考えているイラン人のお子さんなど、日本語でコミュニケーションのとれる子供ならどなたでもお越しいただけます。実年齢に相当する国語力がなくてもご心配ありません。補習校には実年齢より下の学年で一生懸命学ぶ子もたくさんいます。ご興味のある方は、開校期間中の木曜日に見学受付しております。

★対象年齢 6 歳(一年生)～15 歳(中学三年生)ぐらいまで

★日時 毎週木曜日 10:30～12:30 2 時間の授業 間休憩あり  
《9 月末から翌年 5 月(イランのメフル月第一週から、  
オルディーベヘシュト月末まで 年間約 25 回予定+行事)》

★クラス 小学 1～6 年生クラス、中学部

★教員 教員 4 名 補助教員 3 名 計 7 名

★料金 入学金 20,000 トマン 授業料 一回 23,000 トマン  
(物価上昇につき、値上げを検討中)

★場所 Hane Farahang BaSafa(ハネイエ ファラハンギ バーサファー)  
Bolwar Ferdous Shargi Entehaye Vafa Azar Shomali  
Entehaye Kuche Golzar Samte Rast

★ホームページ [www.zenkaiken.jp/teheran/index.html](http://www.zenkaiken.jp/teheran/index.html)

★お問い合わせ先 <mailto:teheran.nihongo2@gmail.com> 見学希望の方、  
詳しいお問い合わせは上記までお願いします。